

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
長崎県美容専門学校	平成11年3月29日	石見メルル 雅子	〒850-0015 長崎県長崎市桜馬場1丁目9番10号 (電話) 095-823-7270			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 長崎県美容学園	昭和51年8月31日	石川 黎子	〒850-0015 長崎県長崎市桜馬場1丁目9番10号 (電話) 095-823-7270			
目 的	学校と企業との密接な連携のもとに美容師に必要な技術・知識・接客マナーを習得し 美容業界に係る職業人として高い実践的能力を持つ美容師の養成を目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
衛生	衛生専門課程	美容科	2年(昼)	2010時間 67 (単位)	平成12年2月8日	無
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	660時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1350時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	104人	8人	7人	15人		
学期制度	■前 期 ：4月1日～9月30日 ■後 期 ：10月1日～翌年3月31日			成績評価	■成績表 (有)・無) ■成績評価の基準・方法について 学期末試験・実技成果・履修状況を総合的に勘案	
長期休み	■夏 季 ：7月30日から8月31日 ■冬 季 ：12月23日から1月4日 ■春 季 ：3月24日から4月8日			卒業・進級条件	校内試験の必修科目が60点以上 学則に定める単位を履修	
生徒指導	■クラス担任制 (有)・無) ■長期欠席者への指導等の対応 個別面談・保護者との連携			課外活動	■課外活動の種類 学生技術大会など学外コンテストの参加 ■サークル活動 (有)・無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ヘアサロン・ネイルサロン・エステティックサロン・ブライダルサロン・アイラッシュサロン・化粧品販売業等 ■就職率^{※1} 93.3% ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} 95.8% ■その他 (任意) (平成28年度卒業者にに関する平成28年5月時点の情報)			主な資格・検定	・美容師国家資格 ・IMA メイク技能検定 準A級 ・INA ネイルスペシャリスト技能検定 A級 ・INA ジェルネイル技能検定 3級 ・色彩検定 3級・2級・1級 ・ABE まつ毛エクステンション認定資格 ・ABE エステティック認定資格 ・接客マナー初級修了書 ・ヘッドスパ初級修了書	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成28年4月1日在学者 96名（平成28年4月入学者を含む） 平成29年3月31日在学者 96名（平成29年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>■中退防止のための取組 クラス担任制による指導、個別面談等の対処</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://n-beautycollege.ac.jp/</p>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

美容師免許取得及び、現場での即戦力となる人材育成を行うため、専門的知識や技術力を習得させることを目指す。美容業界・企業と連携する事で、最先端の技術、知識、情報を得、更に本校の教育活動に対する改善点などの意見や要望をいただき、それを教育課程に反映させていく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年9月26日現在

名前	所属
高橋 誠	長崎県美容業生活衛生同業組合 理事長
梁瀬 忠男	元長崎市教育委員会 管理部長
脇山 順子	元長崎市教育委員会 委員長
河合 誠	長崎県弁護士会事務所 弁護士
高島 作治	有限会社 ウィステリア 代表取締役
岩井 嶺子	株式会社 マダムレイ 代表取締役
湯川 誉文	株式会社 南風 代表取締役
石見メルル 雅子	学校法人 長崎県美容学園 長崎県美容専門学校
永本 真由美	学校法人 長崎県美容学園 長崎県美容専門学校
島田 幸長	学校法人 長崎県美容学園 長崎県美容専門学校

(開催日時)

第1回 平成28年9月26日 13:30~15:30

第2回 平成29年11月27日 10:00~12:00 (開催予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

即戦力となる人材育成を行う為、現場で活躍しているスペシャリストが講師として授業を行う。授業には教員も参加し、講師と問題や結果について検討し、改善を行っていく。

科目名	科目概要	連携企業等
総合技術(ネイル・メイク・ヘアスタイリング・アップスタイル)	美容の技術を習得させる為、幅広い知識・技術・技能を適宜組み合わせる総合学習	Bloom nails、バリニーズサロンサヤン、Nanpu、Labcor、Asante・sana、アージュ、shinju international・(株)ネオ・アーデント・FRACTAL DESIN、RAY Field、shampoo boy、EARTH、words、chouchou copain

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

美容業界について専門的知見を有する企業の講師による知識、技術、技能の研修、更に授業・学生に対する指導力を習得・向上するための研修を、教員毎に計画し実施することで、美容業界で即戦力となる人材育成に反映させる。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 28 年 9 月 26 日現在

名 前	所 属
岩崎 博圓	岩崎内科 院長
森田 清美	長崎市桜馬場 1 丁目自治会 会長
古川 秋利	長崎県立五島南高等学校 元校長
岩瀬 健一	crossover play 代表
古川 義博	卒業生代表

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://n-beautycollege.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://n-beautycollege.ac.jp/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容科) 平成 29 年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			関係法規・制度	美容師の業務に関する法規・制度について学ぶ。	1通	30	1	○		
○			衛生管理	美容師に必要な公衆衛生および環境衛生などについて学ぶ。	1・2通	90	3	○		
○			美容保健	美容技術の基礎となる人体組織、特に皮膚及び毛髪などの付属機関の構造などについて学ぶ。	1・2通	120	4	○		
○			美容物理想	美容業務を安全かつ効果的に行うための正確な化学的知識と美容器具や香料などの適正な取り扱い方について学ぶ。	1通	90	3	○		
○			美容文化論	顧客であるお客様の満足度を上げるため、デザイン力に必要な文化歴史知識及びファッション文化を研究し、感性感覚を磨く。	1・2通	90	3	○		

○		美容技術理論	美容技術について知識を衛生的、能率的に実施する方法を学び、理論的根拠を与え、技術の習得を容易にする。	1・2通	120	4	○		
○		美容運営管理	美容を業とする者に対する必要な経営管理、健康管理、接客、マーケティングについて学ぶ。	2通	60	2	○		
○		美容実習	美容師の業務を安全かつ効果的に実施する技術を学び、基本的なサロンワークを体得することを学ぶ。	1・2通	810	27			○
	○	エステティック	心身の健康と美の表現を目的とし、科学的理論に基づき体の仕組みや血流、皮膚科学などの習得・技術を学ぶ。	2通	60	2			○
	○	美容カウンセリング	美容業におけるカウンセリングの本質とその意義について学び、実践を通してお客様との関わり方と自身の社会性を身につける。	2通	60	2	○		
	○	美容総合技術	基本的技術をもとに、さらに発展した高度な技術（ネイル・メイク・カラーリング・着付け）を習得するとともに、美容デザインの最新の技術の習得を目指す。	1・2通	420	14			○
	○	接客マナー	サロンにおけるコミュニケーションを学ぶ。接客に答えはなくまず相手の気持ちを理解することを学び、挨拶、姿勢、ホスピタリティの精神を習得する。	1・2通	30	1			○
	○	芸術	色彩の基礎理論を学習し、造形の基礎について実習を通して学ぶ。	1	30	1			○
合計				13科目	2010時間（		67単位）		